

名前 年 組

「おが流木バンク」本年度も

男鹿市は、市内の海岸に漂着した流木を個人、団体に無償提供し有効活用してもらう事業「おが流木バンク」を本年度も実施する。初めて事業化した昨年度は、570本が希望者に引き渡された。流木の処理費用の削減をはかる狙いがあり、本年度も試行的に実施して需要や課題を見極め、来年度以降の本格運用を目指す考えだ。

万円の費用がかかる。

市内では、町内会などの団体や委託事業者が海岸清掃を実施している。清掃時に拾われた流木を旧戸賀小学校跡地に搬入し、提供する。委託事業者による清掃では例年、流木を含めた漂着物が10ト以上回収されているという。

事業は昨年度、2カ年計画で試行的に始めた。昨年度は引き渡し会を4回開き、秋田市や潟上市などの県内の28個人・団体に提供された。1件で60本引き取る事例もあった。

ガーデニングのほかイベント装飾、まき燃料、家具として使われ、引き取った人たちからは「好みの形や大きさのものをゆっくり探

せる」「ずっとバンクを続けてほしい」といった声が寄せられたという。

同課の担当者は「570本も引き渡せたのは、需要があったからだと考えている。滑り出しは悪くない」と受け止める。

市は来年度以降の事業の本格実施に向けて流木のよい管理方法、活用事例を伝えるワークショップの開催について考えていく方針だ。

※【漂着】水面を漂っていた物が岸に流れ着くこと。

※【無償提供】お金をもらわずに商品などを渡すこと。

※【削減】数や量を削って減らすこと。

※【需要】必要とする商品などを求める気持ち。

※【アクアリウム】水生生物を飼育する水槽。

※【焼却炉】ごみなどを燃やして処理する装置。

△秋田魁新報2025年5月28日付より。記事は手直ししています▽

1 傍線部の「はかる」に当てはまる漢字として適切なものを、次の①～④から一つ選び、番号を書きましょう。

- ① 測る ② 計る ③ 図る ④ 量る

2 男鹿市はなぜ、「流木バンク」を始めたのですか。指定された字数でぬき出しましょう。

の処理費用を削減するとともに、資源として有効

してもらうため。

3 記事を読んだ子どもたちが感想を話し合いました。記事の内容と合わない感想を述べているのはだれですか。

さん

ゆうみさん 「流木は塩分を多量に含んでいるため、一般のゴミとして処理することが難しく、費用も多くかかることを初めて知りました」

なのかさん 「流木バンクは、流れ着いた物を単にゴミ扱いしないという環境にも配慮した取り組みで、美しい海岸を保つことにもつながっている試みだと感心しました」

もときさん 「私の家では、部屋のインテリアに流木を飾っています。流木がインテリアの他にも、ガーデニングやまき燃料、家具にまで活用できるなんておどろきでした」

ふみやさん 「大雨災害のとき、橋に大量の流木が引っかかる様子をテレビで観たことがあります。流木をすべて回収し、処分するのは相当大変なことだと思いました」